

安全で魅力的な Web サイトを維持するために
コンプライアンス、アクセシビリティ、ユーザビリティなど
Web サイトのポリシー違反を検査し、管理する



Rational. software

IBM Rational Policy Tester

特長

- Web コンテンツの自動スキャンにより、プライバシー、品質、およびアクセシビリティなどのコンプライアンスに関する問題を特定してオンライン・リスクを軽減
- オンラインのユーザビリティおよびコンプライアンス関連の問題をビジターに影響を与える前に検出して信頼性を向上
- 手動での追跡・検査よりも速く問題を識別して迅速な修復を促進
- 継続的なチェックとレポートによって進化する Web テクノロジーから発生するコンプライアンス・リスクを最小化

Web サイトの規模が大きくなり、複雑さや重要性が増すにつれて、Web サイトを所有、運営するほぼすべての組織に、業界や政府機関が新たに設けた厳しい規制を遵守することが求められています。 IBM Rational® Policy Tester™ は、自動化されたスキャンおよびレポートにより、プライバシー、品質、およびアクセシビリティ要件の遵守や、企業の Web 資産から発生するリスクの軽減に取り組む組織を支援するために設計されたソリューションです。

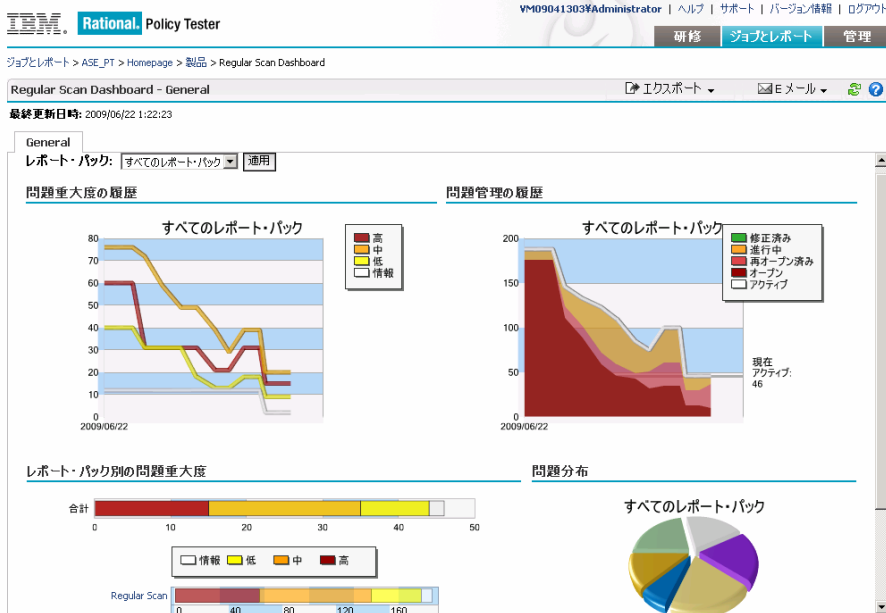
拡張可能な Web ベースのエンタープライズ・ソリューション

IBM Rational Policy Tester は Web サイトのポリシー違反を検査し、管理する Web ベースのソリューションです。中核となるスキャン・エンジンが Web サイトのコンテンツとアプリケーションを検査してデータを分析し、検出結果をデータベースに保管します。また、スキャン中に発見された問題を指摘するレポートを生成し、対応が取れるようにします。特定のプライバシー、品質、およびアクセシビリティの問題に対処するために、Rational Policy Tester では Privacy Edition, Quality Edition, Accessibility Edition の 3 つのエディションをご用意しました。ここでは、各エディションについてご説明します。

IBM Rational Policy Tester は、企業内の複数のユーザー役割とアクセス権限をサポートします。また、問題管理機能は、問題の優先順位付けを簡単に行えるように設計されているため、迅速な修復を可能とします。さらに、企業内にオンライン測定基準を設定、追跡するためのエグゼクティブ・ダッシュボードが含まれています。

IBM Rational Policy Tester Accessibility Edition で市場シェア拡大を促進

「アクセシビリティ」、それは、可能な限り多くの人、なかでも障害を持つ人のシステムへのアクセスしやすさを意味します。言い換えれば、アクセシビリティはすべての人が平等にアクセスできるようにすることを目指すものです。たとえば、高齢のユーザーの場合、身体的に何らかの補助が必要とされることがあります。多くはブラウザ設定をカスタマイズし、対応されませんが、一方で画面読み上げや音声による機器操作などの機能を利用するユーザーもいます。アクセシビリティに関するテクノロジーによって Web ページを最適化することは、市場シェアを勝ち取り、可能な限り多くの人々が Web サイトを利用できるようにする上で不可欠です。さらに、アクセシビリティ関連の訴訟や法的な審査が増える傾向にあり、新たな指針や規制が多数生まれています。



IBM Rational Policy Tester エグゼクティブ・ダッシュボード

The screenshot shows the 'テンプレート (Templates)' section of the application. It contains a table with the following columns: 状態 (Status), タイプ (Type), 名前 (Name), コンテンツ (Content), 説明 (Description), 最終実行 (Last Execution), and 次の実行 (Next Execution).

状態	タイプ	名前	コンテンツ	説明	最終実行	次の実行
●	アクセシビリティスキャン	アクセシビリティスキャン	編集	0 個の開始 URL	アクセシビリティ問題についてサイトをスキャンします	
●	アクセシビリティスキャン	アクセシビリティスキャン	編集	9 レポート	アクセシビリティ問題についてサイトをスキャンします	
●	プライバシースキャン	プライバシースキャン	編集	0 個の開始 URL	プライバシー問題についてサイトをスキャンします	
●	プライバシースキャン	プライバシースキャン	編集	15 レポート	プライバシー問題についてサイトをスキャンします	
●	品質スキャン	品質スキャン	編集	0 個の開始 URL	品質問題についてサイトをスキャンします	
●	品質スキャン	品質スキャン	編集	16 レポート	品質問題についてサイトをスキャンします	

IBM Rational Policy Tester スキャンテンプレート

IBM Rational Policy Tester Accessibility Edition は、アクセシビリティに関するチェック項目について Web 資産をスキャンすると共に、米国政府規制や一般に認められた民間組織の標準に関するコンプライアンス関連の問題がないか確認します。

また、Rational 製品を使用することで、より多くのユーザーがアクセスできるサイトにできるだけなく、訴訟の発生を回避し、マイナスのブランド・イメージがもたらす悪影響を防ぐことができます。IBM には、アクセシビリティという課題に関する幅広い経験があります。障害を持つ人でも Web コンテンツや Web アプリ

ケーションをより利用しやすくするための、明確な方法の確立を目指すユニバーサル・グループ、Web Accessibility Initiative Accessible Rich Internet Applications (WAI-ARIA) グループに参加しています。IBM は現在、World Wide Web Consortium (W3C) Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) の発展に寄与するとともに、Adobe® との協力の下で、Flash アプリケーションのアクセシビリティを高める取り組みを進めています。

詳細な各レポートが、以下のガイドラインと規制に関連するスキャンに基づいて作成されます。

- W3C WCAG
- リハビリテーション法 508 条ガイドライン (米国)
- AccessiWeb (重大度別にアクセス問題を分類するフランスの標準)
- カスタムのアクセシビリティ・ガイドライン (各企業独自の内部ポリシーに基づくもの)

これらのレポートによって、対象となる Web サイトが、障害を持つユーザーに関連する一般的な問題を含んでいるかどうかを判断できます。例としては、サイトのナビゲーションに関する問題や、テキスト以外の項目の理解、フォームの入力、リンクの利用、複雑なテーブルに表示される情報の利用などに伴う困難が挙げられます。

IBM Rational Policy Tester Privacy Edition で見落としを検出

自社のプライバシー・ポリシー違反が発生するさまざまな可能性を把握することは容易ではありません。セキュリティに問題があるデータ収集フォーム、プライバシー・ステートメントの欠落、個人情報 (PII) を含む Cookie やページなどは、すべてプライバシー・ポリシー違反の可能性があります。IBM Rational Policy Tester Privacy Edition は、企業の Web サイト全体のデータ収集に利用できる、包括的なインベントリを提供します。その結果、企業は適切なプライバシー・ポリシーを容易に策定し実施することができます。

IBM Rational Policy Tester Privacy Edition で提供するレポートは、データ収集レポート、プライバシー・ステートメント・レポート、ビジター追跡レポート、プライバシー規制コンプライアンス関連レポートなど、いくつかのカテゴリに分類されます。これらのカテゴリは、さらに詳細なサブカテゴリに分類されます。



IBM Rational Policy Tester Quality Edition スペル・エラー問題箇所の表示



IBM Rational Policy Tester Accessibility Edition 問題の解説

- フォーム・インベントリー:**
 プライバシー・ポリシーに反する疑いのあるフォームや、情報漏えいにつながりかねないフォームを識別します。
- 個人情報の収集ページ:**
 プライバシー・ステートメントへのリンク、適正なレベルの暗号化、オプトアウト・オプションなどの確認が必要なページを指摘します。
- GET メソッドを使用する**
フォーム送信の個人情報収集ページ:
 プライバシーに関する既知のぜい弱性があるメソッドを使用しているページを指摘します。
- プライバシー・ステートメント・リンクのある/ない 個人情報収集ページ:**
 どのページがプライバシー・ステートメントにリンクし、どのページがリンクしていないかを識別できます。
- Cookie インベントリー:**
 自社および第三者の Cookie の一覧を表示します。各 Cookie の使用が組織のポリシーに沿っているかどうかを判断できます。
- Web ビーコン・インベントリー:**
 第三者 Cookie と併用されているものも含めて、Web ビーコンを識別します。
- 第三者リンク・インベントリー:**
 第三者サイトへのリンクを表示します。

ユーザーは望ましくないリンクや非標準のリンクをモニターできます。

プライバシー規制コンプライアンス 関連レポート

ユーザーは各レポートを使用して以下の規制に関する問題を識別できます。

- COPPA 法 (児童オンライン・プライバシー保護法):**
 児童の 個人情報 の収集、開示、および保護に関する規則を定める法律
- GLBA 法 (グラム・リーチ・ブライリー法):**
 金融機関が保有する個人消費者の金融情報に関する法律
- HIPAA 法 (医療保険の携行と責任に関する法律):**
 医療関連の組織が保有する個人を特定可能な医療情報に関する法律
- カリフォルニア州法 AB 1950 および SB 1386:**
 公的機関および民間企業が保有するカリフォルニア州居住者の個人情報に関する法律 (AB 1950) と、セキュリティ侵害や情報漏えいが発生したか疑われる場合の通知に関する規則を定める法律 (SB 1386)
- セーフ・ハーバー協定:**
 欧州共同体のデータ保護に関する指令の遵守を定める取り決め
- 電子政府法 208 条:**
 米国の行政機関が保有する米国市民の個人データに関する法律



IBM Rational Policy Tester Quality Edition を使用してビジターの満足度向上

相互接続された自社の Web サイトが増えるにつれて、サイトを、訪問者がスムーズに問題なく利用でき、継続的な使用を促せるものにするのが重要になります。IBM Rational Policy Tester Quality Edition は、オンライン・ビジネスに対しマイナスの印象を与えたり、サイトのユーザビリティを阻害したりするような、コンテンツの品質に関する問題を評価し報告します。このソフトウェアを使用することで、お客様が問題の存在に気付く前に、それを特定して取り除くことができます。

レポートには次のようなカテゴリーがあります。

- **コンテンツの欠陥:**
リンク切れ、スペルミス、アンカー切れなど、ビジターのアクティビティに直接影響を与えます。
- **ページ効率分析:**
緩慢なページ・ロード、複数の警告とリダイレクトなど、ユーザビリティの問題を明らかにします。
- **検索およびナビゲーション分析:**
ビジターがクリック 3 回以内 (一般的にユーザーの許容範囲とされる) で必要なものを見つけられかどうかを検証します。
- **組織の内部品質標準に沿ったカスタム・レポート (IBM Rational Policy Tester の専門家による作成支援も可能です)。**

金融サービス向けのカスタマイズが可能

IBM Rational Policy Tester は、金融サービス企業向けにカスタマイズできます。カスタマイズにより、特定の政府消費者保護要件に関する問題のスクランや、これらの問題に関連する包括的なレポート作成が可能です。問題管理機能では、レポート作成時にコンプライアンス関連の問題のフィルタリングと優先順位付けが可能です。そのため、最もリスクの高い問題から対処することができます。

消費者保護、個人資金取引、住宅問題、融資活動、資産管理、およびオンライン金融

取引に関連するカスタマイズ・オプションが用意されています。

Rational Policy Tester を SaaS (Software as a Service) として活用

ほとんどの企業では、Web コンテンツは、組織全体でさまざまなグループや個人によって作成されています。そのため、特に対応可能な人員が限られているケースでは、プライバシーやコンプライアンスに関する課題に一貫して対処することが困難な場合があります。Rational Policy Tester OnDemand は、SaaS 製品であるため、ハードウェア、ソフトウェアの導入、保守更新、運用などに煩わされることなく、容易に、初期導入のコストを抑えて、品質、プライバシーやコンプライアンスに関する課題を管理することを可能にします。Rational Policy Tester OnDemand では、IBM の専門家による、サービスが付属するので、確実に検査を実施し、すぐに問題に対処することができます。

詳細情報

IBM Rational Policy Tester によるオンライン・リスクとコンプライアンス関連アクティビティの管理の詳細については、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下のサイトをご覧ください。

ibm.com/software/jp/rational/products/tes t/policytester/

お問い合わせは、IBM ビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員または、ダイヤル IBM (0120-04-1992) へ。受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00 (祝日 12/30 ～ 1/3 を除く) 携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号でご利用ください。ダイヤル IBM 03-6220-8002 (この場合通話料金はお客様のご負担となります。)

© Copyright IBM Corporation 2009
日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan
May 2009
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、Rational および Policy Tester は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

本書に含まれる情報は、情報提供のみを目的に提供されています。本文書の情報の完全性および正確性については最善の努力を払いましたが、本文書の内容は法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負うことなく、現存するままの状態を提供されます。また、本文書は IBM の現在の製品プランまたは戦略に基づくものです。この製品プランまたは戦略は予告なく変更されることがあります。IBM は本文書およびその他関連文書の使用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。本文書は、IBM (または IBM のサプライヤーまたはライセンサー) にかかると保証責任を負わせるものではなく、また、IBM ソフトウェアの使用に際し適用される、プログラムのご使用条件の内容も変更するものではありません。

お客様は自己の責任で法規定を遵守しなければならないものとします。お客様のビジネスに影響を与える可能性がある関連法および法的要求事項の確認と解釈、並びにかかる法を遵守するためにお客様がとる必要のある措置に関して、弁護士の適切な助言を得ることはお客様のみにかかわる責任とさせていただきます